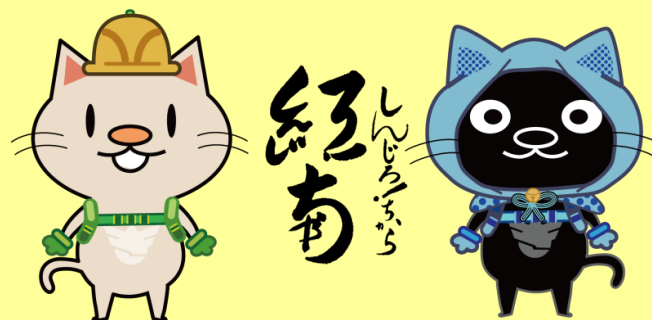


三重県立紀南高等学校

防災きにゃんプロジェクト



震災で悲しみを
抱える人を
つぐらない



<プロジェクト名について>



防災きにゃんプロジェクト



紀南高校の公認マスコット
キャラクター。

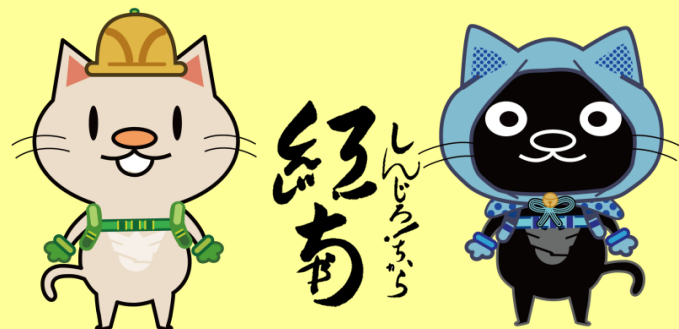
きにゃん



避難

<紀南高校と南海トラフ地震>

- 南海トラフ地震の発生率
 - 今後30年で70~80%
- 紀南高校が建っている場所
 - 海岸から800m
 - 津波最大浸水深5m



＜プロジェクトのきっかけ＞



三重県学校防災ボランティア事業



令和4年1月 及び 令和5年1月
有志生徒 のべ13名が宮城県等を訪問

＜現地で学んだ防災・減災の大切さ＞



防災リーダーを目指して



<学んだことからの気づき>



気づいたこと

紀南高校近くの
津波避難場所への
案内板が
見えにくい

例えば



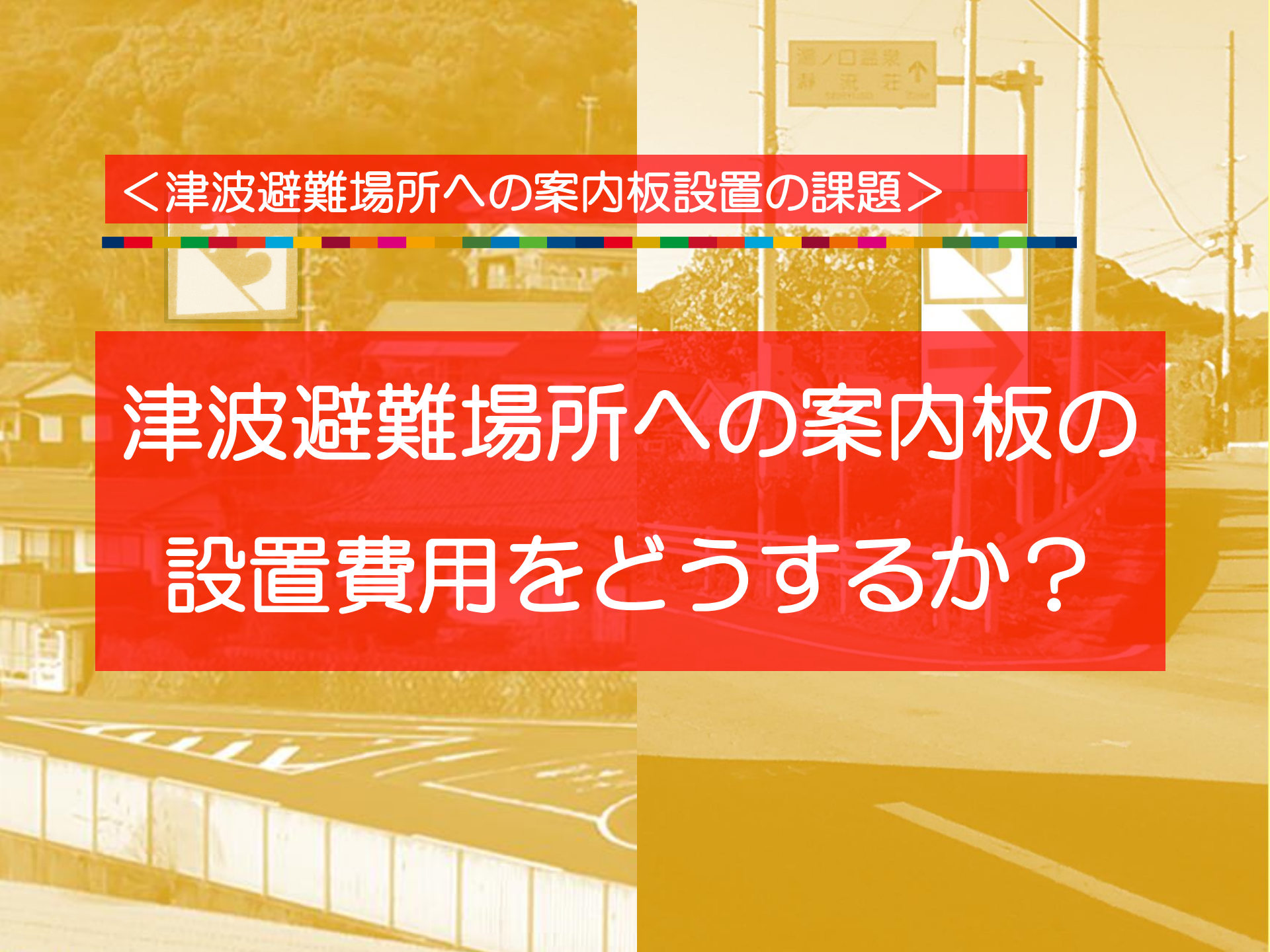
ここにあれば見やすいのでは！

自分たちの
気づきを
御浜町の
防災計画に
活かしたい



紀南
しんなん



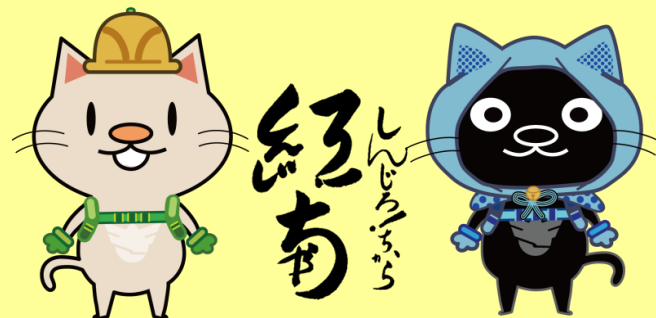
The background image shows a street scene with a road sign on the right side. The sign is yellow with black text and an arrow pointing up. The text on the sign is "温泉口" (Onsen-guchi) and "温泉" (Onsen). Below the sign, there is a building with a white facade and a red roof. The image has a yellowish tint.

＜津波避難場所への案内板設置の課題＞

津波避難場所への案内板の
設置費用をどうするか？

＜津波避難場所への案内板の設置費用＞

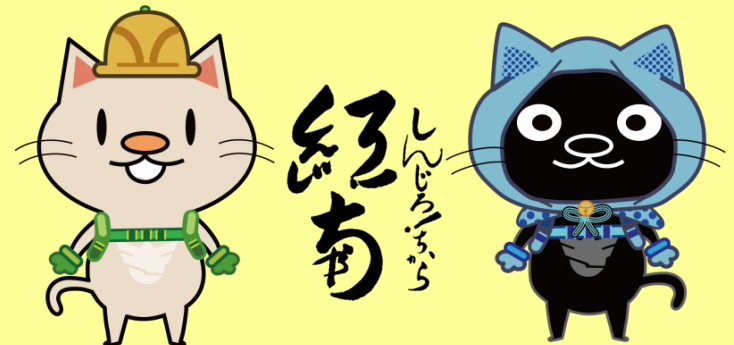
- 夜間でも見える反射シート。
 - 横120cm 高さ180cmの案内板の制作費。
 - 案内板を支える支柱2本。
- …などを加えて
【税別 495, 000円】



＜津波避難場所への案内板の課題解決策＞

みんなを巻き込め！（＝ボランティアの基本）

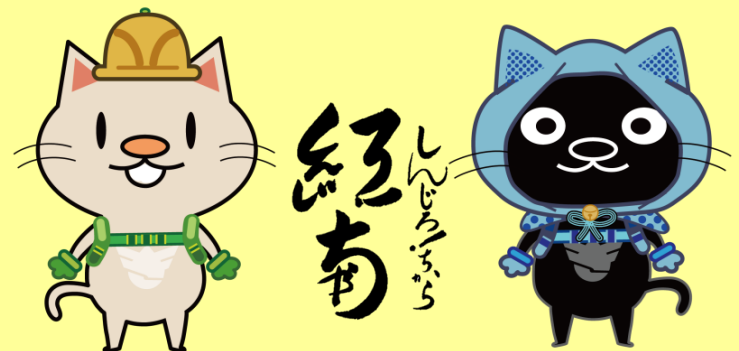
- 地元企業・道の駅とコラボして、「非常持出袋」を制作・販売する。
→ その収益を費用に充てる。
- これまでの地元企業とのコラボ実績を活かす。



＜津波避難場所への案内板の課題解決策＞

みんなを巻き込め！（＝ボランティアの基本）

- 地元企業などに「防災きにゃんプロジェクト」の協賛を呼びかける。
- 「非常持出袋」に入れる防災グッズの提供をお願いする。



＜津波避難場所への案内板の課題解決策＞



みんなを巻き込め！（＝ボランティアの基本）

- 地元企業4社、団体2団体、個人2名から協賛品の提供を受ける。
- 「非常持出袋」の名前

防災**避にゃん**セット
～一緒に**避にゃん**しよう！～

※マスコットキャラクターの「きにゃん」と津波からの「避難（ひなん）」をかけました。

<協賛企業からの贈呈式>

ユウテック
株式会社
有城社長が
来校



＜協賛企業での贈呈式＞



日本土木工業株式会社
中野社長から
防災リーダーへ



＜生徒防災リーダーの活動＞



安否確認カードの作成、
協賛品の袋詰めを実施



＜生徒防災リーダーの活動＞



完成披露の記者会見



＜熊野エリア道の駅協議会の協力＞

鬼が城センター・パーク七里御浜ピネ・ウミガメ公園

3/18(土).19(日). 10:00~12:00
13:00~15:00

販売中!

防災避にゃんセット ～一緒に避にゃんしよう～

『震災で悲しみを抱える人をつくらない地域』を
目指すための非常持ち出し袋!!

『防災きにゃんプロジェクト』

三重県立紀南高等学校



＜熊野エリア道の駅協議会の協力＞



＜地域の皆様の多大なるご協力＞

地元の方がたくさん買ってくださいました！

防災避にゃんセット
～一緒に避にゃんしよう！～



75個を売り上げ
375,000円の収益

<個人協賛者様への感謝状贈呈>



自衛隊熊野地域事務所
OB 松谷実様



熊野市在住
九鬼真弓様



<事業所・団体様への感謝状贈呈>



大和緑化株式会社様

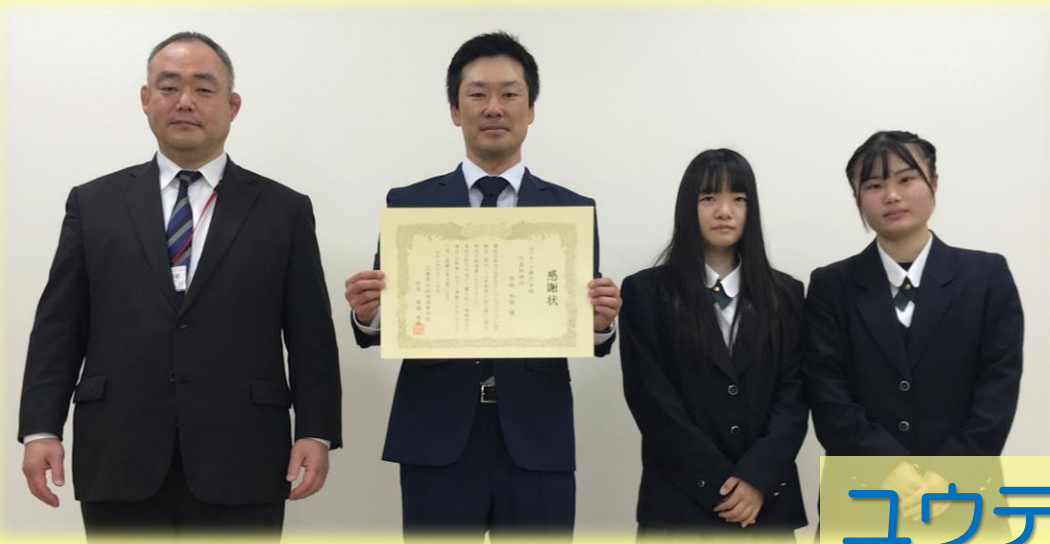


寿し文様



<事業所・団体様への感謝状贈呈>

日本土木工業様



ユウテック様



<事業所・団体様への感謝状贈呈>

御浜町建設業組合様



御浜町建築業組合様



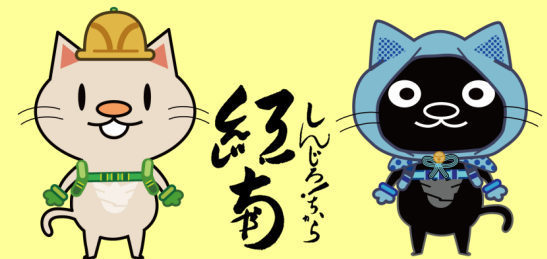
ご協賛
ありがとう
ございました



<テレビ出演で全国に取組を発信>



BSよしもと
生出演



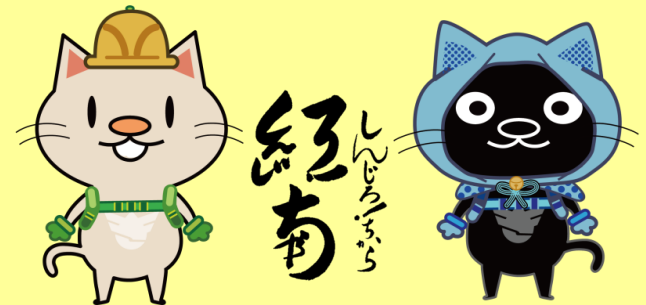
<今までも、これからも「継続は力なり」>

みんなを巻き込め！（＝ボランティアの基本）

- アルミ缶の提供を呼びかける。
- 10kgのアルミ缶で約1,800円換金
→ 1年の活動で、34,900円



JRC部の活動を
継続していく



＜防災きにゃんプロジェクトを続ける上で＞

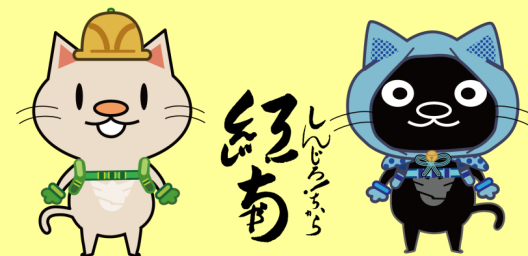
法律の問題などの課題が残っている。

→ 案内板の大きさや、設置場所を
変更する？

→ 後輩に引き継いでもらう？

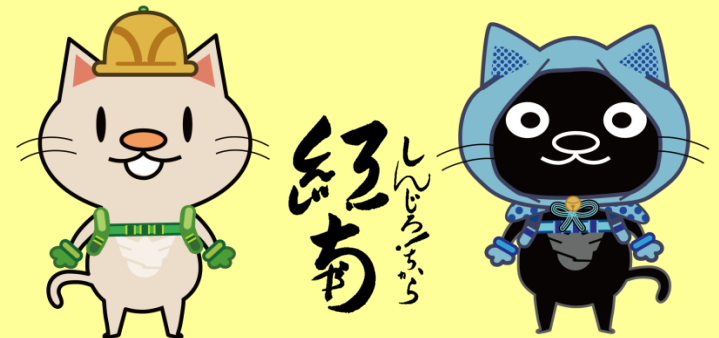


活動をやめないことが大切



＜防災きにゃんプロジェクトを続けると＞

- ① 見やすい津波避難場所への案内板の増設が進む。
- ② 地域住民の防災意識が向上する。
- ③ 防災に強い街づくりが加速する。



<防災きにゃんプロジェクトを続けると>



震災で悲しみを
抱える人を
つくらない
街づくりが実現

